

# 森の「見える化」運動

■大阪の「森の現状」を広く伝えるため、子どもたちを対象とする『森林環境学習（出前講座）』をはじめ、「おおさか山の日」等に開催される各種イベントの場も活用しながら、森の「見える化」運動を展開する。  
 ■具体的には、次の4つの取り組みを柱に「見える化」を進めていく → ① おおさか「山の日」（イベント参加者を対象に森の解説） ② 森林環境学習（小学生を対象に出前講座）  
 ③ 森の健康診断（アドプトフォレスト参加企業等を対象に現地で解説） ④ 木育活動（内装木質化施設利用者、木材取扱業者等を対象に普及啓発）

## おおさか「山の日」



◆11月の「山に親しむ推進月間」中は、第2土曜日の「おおさか山の日」を中心に、各関係団体・市町村・府主催の参加体験型イベントを府内各地の森林で開催  
 【H27実績：90箇所、86,580人参加】

森に対する理解度を高めてもらうため、府民イベントの場を使って、森の現状を解説したり、森の健康度を知る簡易な手法を試演

府民

## 森林環境学習 出前講座

子ども

森の現状・森の素晴らしさを子どもたちに伝えるため、森林の専門家が小学校を訪問

- 《基本編》 室内で、森林をテーマとする「環境学習」
- 《応用編》 校内で、自然環境学習
- 《発展編》 校区や森林で「自然観察」や「フレ 森の健康診断」

### 【学習テーマ】

- ◇大阪の森の歴史（変遷）
- ◇森の働き
- ◇森の現状
- ◇大阪の森は健康なのか？
- ◇私たちにできること
- ◇調べてみよう  
 （ペットボトルジョウロを使った簡易な実験）



## 森の健康診断

NPO

簡易な調査手法により、森の健康度を測定する取り組みを広めるべく、NPO活動地等に出向いて模擬調査を実演

◆大阪府域の森林の問題を解決するには…

- ⇒ ① 多くの人に問題を知ってもらう
- ② 科学的な調査によって現状を正確に把握し、その情報に基づいて方策を考える
- ③ 問題解決に実際に貢献してくれる人を一人でも増やす

⇒ この3点の実現化方策が「森の健康診断」

■「森の健康診断」とは…

- ⇒ 「植生調査」と「混み具合調査」、「浸透能調査」の3種類
- ⇒ 調査結果から、調査対象地域の環境に合った森林管理計画の立案が可能



## 木育活動

家庭

木材の利用促進のために、「木のぬくもりネット サポーター」や「木育リーダー」を活用した啓発を実施

◆「木のぬくもりネット」サポーターの活用

- ・サポーターとの連携イベントの開催
  - ⇒ 「水都おおさか森林（もり）の市」（森林、木材の普及啓発）
  - ⇒ 「木のぬくもり 森のママまつり」  
 （子ども向けワークショップや体験型ブース等を設置し、親子で木に触れ、木の良さや森林への理解促進）

◆木育リーダーの活用

- ・内装木質化施設の見学会等を通じた普及啓発



## スケジュール

